

ハルビン近代建築における形態要素に関する研究 屋上突出物とパラペット

正会員 ○ 張 健 *1
同 三宅 光明 *2
同 近藤 正一 *3
同 若山 滋 *4

1. はじめに

ハルビンは19世紀から帝政ロシアの強い影響下にあり、「東モスクワ」あるいは「北の上海」として、早くから西洋建築、近代建築の洗礼を受けてきた。建築様式の風土性と表象性を考察する格好の素材となる興味深い都市である。中国の近代化過程における重要なポイントは、屋根形態の変遷である。

形態の多様性はハルビン近代建築の最も重要な特徴である。本論文はハルビン近代建築の上部（屋上突出物とパラペット）における基本的な形態要素について分析する。

2. 分析

(1) 屋上突出物

屋上突出物はハルビン近代建築における形態の顕著な特徴である。全部の建築物のうちに突出物を有する物は四分の一を占める。これは中国の他の近代都市と較べて珍しいことである。これによって、屋上突出物はハルビン近代建築を形成する過程において重要な役割を果たしていることがわかる。突出物は豊富な造型、厳格な構図でハルビン建築形態を装飾し、この都市景観を美化している。その突出物の底面の形状を基本的な幾何形状によって分類すると、「円形」、「四角形」及び「多角形」の三種類になる(表1)。「円形」は底面の形態によって「半球体」、「扁球体」(平たい球体)、「ラグビーボール体」、「玉葱体」

及び「円錐体」の5種類に分類できる。同様にして、「四角形」は底面によって台体、「四角錐」、「四角太鼓体」(内部で外に突出する四角台体)及び「四角傘体」の四種類に分類できる。「多角形」は底面によって「多角錐」と「多角傘体」(中部で外に突出する多角錐体)の二種類分類にできる。

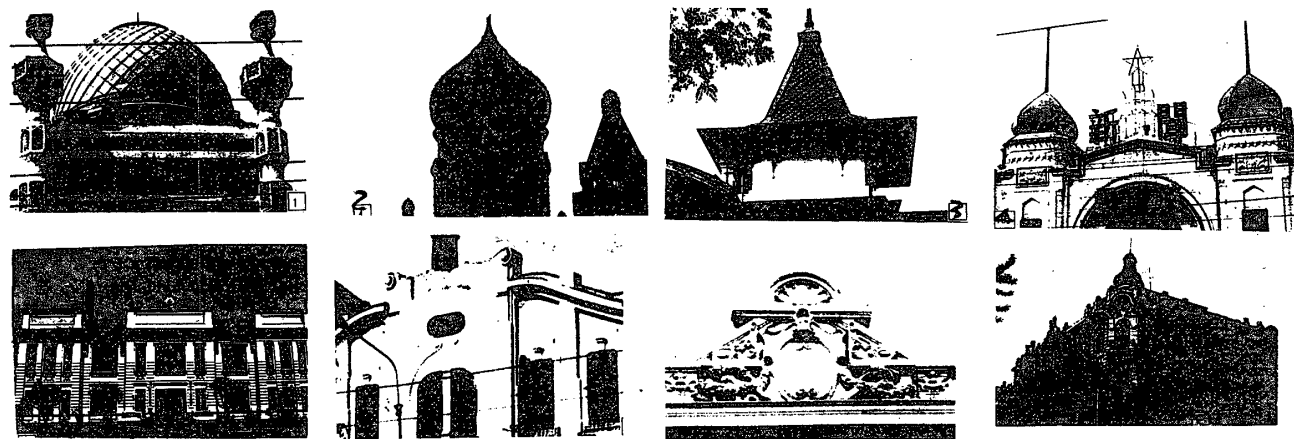
(2) パラペット

ハルビン近代建築において、上部のもうひとつの重要な部位はパラペットである。パラペットは「単一形」と「組み合わせ形」の二種類に分類できる(表2)。「単一形」は「三角」、「四角」及び「曲線」の三種類に分類できる。

3. 考察

統計結果によると、屋上突出物において、「円形」底面が占める割合は全体のうち最も高い53%を占める。特に、「半球体」要素は最も高い割合を示した。パラペットにおいて、最も多く用いられる幾何形状は「単一形」、「組み合わせ形」を通じて「四角形」であることがわかる。このことから、ハルビン近代建築のパラペットにおいて、「四角形」の要素は「単一形」だけではなく、「組み合わせ形」にも重要な物であることがわかる。

4. 結論



Shape element in Harbin modern architecture

Shape element about protruding on roof and parapet

ZHANG Jian, MIYAKE Mitsuaki, KOHDO Sh oichi
and WAKAYAMA Shigeru

表1. 屋上突出物の形態要素

底面形状	○	□	多角形	多角形							
形態	半球体	扁球体	ラジエーボール	玉葱体	円錐体	台体	四角錐体	四角太鼓体	四角傘体	多角錐体	多角傘体
	1	4	3	2	5	5	3	2	5	3	4
	11			3	5	5	5	2	5	3	3
写真の番号											
数量											
合計											

表2. パラペットの形態要素

形態	△	□	○	△ + □	△ + ○	□ + ○
	三角形	四角形	曲線形	三角形 四角形	三角形 曲線形	四角形 曲線形
写真の番号	12	5	6	7	8	101
数量	76	19	14	3	101	118
合計	107	118	225			

「半球体」の要素はハルビン近代建築の形態において最も重要である。「四角形」の要素はパラペットの形態において重要である。

「四角形」の要素で構成されるパラペットが突出物の「半球体」をより一層ひきたたせていることはハルビン近代建築における屋上突出物及びパラペットの主要構成の特徴である。

注：本論文に掲載した写真は常懐生教授（ハルビン建築大学の協力によるものであり、ここに謝意を表します。

参考文献：

- 汪坦、藤森 照信、侯幼彬、张复合、村松伸、西泽泰彦：中国近代建筑总览・哈尔滨篇，中国建筑工业出版社，1992
- 常怀生：哈尔滨建筑艺术，黑龙江科学技术出版社，1990
- Alexander Hosie: Manchuria, it's People Resources and Recent History, London. Methuen and Co, 1901

*1 名古屋工業大学大学院博士後期課程・工学碩士
 *2 名古屋工業大学大学院博士前期課程
 *3 名古屋工業大学助手・修士（工学）
 *4 名古屋工業大学教授・工学博士

Dr.'s course, Nagoya Institute of Technology, Master Eng.
 Mr.'s course, Nagoya Institute of Technology
 Research Assoc., Nagoya Institute of Technology, Master Eng.
 Prof., Nagoya Institute of Technology, Dr. Eng.